

世界コミュニケーション神戸100

世界を結ぶ神戸っ子ネットワーク



△質問項目▽

① あなたの仕事、生活をととして世界各国の人びととおつきあいがあると思いますが、特に深い交際をもつていらつしやる国や町、人について様子をお書き下さい。

② 交流については経済・文化・スポーツなどいろいろな面でのスタイルがあると思います。どんな交流をもち、どのような思いをお持ちですか。エピソードなどをお願いします。

③ これからの国際交流の基本的な形は国家ベースの建前交流より民間の積極的な交流が大切であると思いますが、どのように考えられますか。またどういう方法が必要と思われますか。国際交流について具体的な提案があればお示しください。

④ 神戸はいまコンベンション都市／会議・見本市都市／をめざしています。適切なアドバイス、ご提案があればお願いいたします。

以上の四項目につきまして、重点的に取捨選択いただいて結構です。例えば①④だけ、あるいは①③だけ、または②だけを取り上げてお書きいただかま結構です。
(掲載は順不同)

★コンベンションビュローの設置を

樺木 茂男

△パンドー化学㈱社長▽



神戸には古くから市民の中に国際的な交流を受けいれる土壌があります。この神戸に世界各国の人々を招き、国際交流を盛んにし、先端情報を取り入れ、情報の発信地となることは非常に意義あることです。このためには、国際会議場・見本市会場・ホテル等の受入れ施設の拡充や交通機関の整備とともに、会議や催物等を総合的に誘致し、神戸の特色を十分に盛り込んだ企画や運営のできる本格的なコンベンションビュローの設置が望まれます。

★お互いに新しい創造を

生み出そう

畑崎 広敏

△興ワイルド代表取締役社長▽



民間レベルでの国際交流というと、何か堅苦しく特別な方法等を考えがちですが、その底には、コミュニケーションという基本的な人と人とのふれあい、心の通い合いがあるようです。

心を開いて一人の人間の話を開き、相手を理解すること、そして自分の思うところも堂々と相手に伝えること。そういう雰囲気神戸の街全体で育てて、お互いが双方の知恵を集めることができ、新しい創造を産み出してゆけるとしたら素晴らしいでしょうね。

★商売を超えた強い信頼と友情

田崎 俊作

△田崎真珠㈱取締役社長▽



仕事を通じてフランスのグラスベリー氏とは26年来のお付き合いで、真珠のことや両国の事情・問題等について忌憚のない意見や情報を交換し合っている。私が尊敬するのは氏の真珠を見る厳しく確かな目と、豊かな人間性である。「田崎に私の欲しい真珠がある限り田崎から買う」と言うほど一度信用したらことなまで信用する人で、最早私達は単なる売手とバイヤーの域を遙かに超えて強い信頼と友情で結ばれており、このことが商売の大切な基調だと考える

★本当の国際交流は民間ベースで

金井 厚

△帝真貿易㈱取締役社長▽



若い人達との交流は国際理解と親善を深める最善の方法であると思います。先日も十年前にロータリーで一年間お世話申し上げたオーストラリアの女性が、第二の故郷と思っている神戸で結婚式を挙げたいと、わざわざ新郎共に来神され、その上、その席に多数の日本人の友人も招待されて華式なさった話もあります。神戸を訪れる若い人達に進んでホームステイを提供して親善を温め、相互理解を深めるのも良い方法。本当の国際交流は民間ベースでやるべきです

★国際交流を進める

「違いの解る人」

竹田 剛男

△関西貿易商取締役
社長▽

私自身政府の公職がありますので、最近には特にアセアンの人々との交流があります。タイ国商務相ブンシー氏、マレーシア農業相マナン氏、フィリピン大統領補佐官モンテメヨール氏など立派な人々ばかりです。国際化というところのエリアットが考えればいいことと考えるのは間違いで、異文化に対する理解と寛容の心の持主、つまり「違いの解る人」が国際交流を進めるために必要です。私は「民間大使」である海外からの留学生受入れ問題と取り組んでいます。

★取引往来は世界の30数カ国と

北川 勲

△同通商興業取締役
社長▽

①若い頃八年間スウェーデンの総合機械輸入商社で外人の中に囲まれて修業したせいか、今まで「外人」を意識した事がありません。
②③世界の30数カ国と取引、往来していますので、国際的に有無相補い合う貿易を通じて国際交流民間外交の捨石になりたいと願っています。
④子弟の母国教育に後援を引かれている邦人各企業の海外派遣駐在員が、腰を据えて各国に溶込めるように海外子弟を受入れ、各国留学生とも交歓できる大学・学部の設定を期待します。

★サッカーによる日独親善

河本 春男

△ユーハイム社長、神戸市サッカー協会会長、(社)神戸フットボールクラブ会長▽



創始者がドイツ人である当社は西ドイツと関係が深く、フランクフルト市に三直営店を経営し、日本から27名の従業員が行っている。従って日独の交流も活発で先方からも来日する。西ドイツ店は客の七割がドイツ人である。

今年の7月20日から十日間の日程でドイツの女子サッカー・チームが神戸を訪れる。(社)神戸フットボールクラブとの交歓試合を行い京都、高槻のクラブとも対戦する奈良、京都を観光して帰る予定で日独交流に一役買うことになる。

★平和な新しい世界文明創造都市

田嶋 克巳

△神戸輸入促進フォーラム理事長▽



神戸には、日本の発展に貢献したキリスト教会系の多くの教会、学校をはじめ世界の歴史のそれぞれの時代を生んだユダヤ、ヒンズー、イスラムなど世界の宗教、文化が集っており、アジア、日本の文化を生んだ仏教、神道の心と世界の宗教、文化の心を和合させる社会造りが可能である。こうした精神的土壌造りの上に科学技術経済の創造的努力が行われるとき「平和な新しい世界文明創造の都市」に挑戦することとなり、これこそ神戸の持つ歴史的役割だ。

★外国人は「ガイジン」ではない

日下 徹

△川崎製鉄労働政教
教育総括室主査
(課長)▽

神戸にはたくさん外国人が住んでいるが、彼らは「ガイジン」と呼ばれることを大へん嫌う。本当の友人になれないのは、日本人の心の底に「ガイジンさん」という人種の差別意識があるからだという。私の知人(アメリカ人)はあるレストランでアルバイトをしていたが、彼女が雇われているのは、結局のところ青い目と金髪にしかないことが分かり、やめてしまった。外国人との交流は、彼らを外国人と意識しないところからスタートするべきではないか。

★外国人対象の技能研修センター

園井 洋一

△神戸製鋼所原料
本部第二原料部長▽

発展途上国との国際交流としては、地方公共団体が地元民間企業と協同して、技能研修センター(外国人対象)等の設立を積極的に推進するのが良いと思う。最近では工場閉鎖や設備休止する企業も多いから、その設備や場所を買取り、又は借用して技能訓練の現場として活用したら良いと思う。

先進国との国際交流としては、一般市民の協力を得て、地方公共団体がホームステイ制度の拡充を図り、文化、教育、生活体験の交流を促進するのが良いと思う。

★宗教習慣を超えて世界中との
交流を

毛利 治郎

△興春日商會
代表取締役



私は貿易業に身を置いている関係上当然ながら非常に多くの国の人のおつきあいがある。なかでも中東のサウジ・アラビアには当社が一九五七年日本商社としてはじめて同国に進出駐在した事情もあり友人も多い。今では衆知の通りこの国は非常に戒律の厳しい回教国であるため留意すべき問題点が多いが喜怒哀楽に示す感情は世界各国何れにも共通したものであり宗教習慣を超えて世界中の人々との交流を深めようとする動きは昨今誠に時宜を得たものと思う。

★国民性の違いを知ることが大切

茂久田 博發

△日本歯科用品輸入協会
会々長 興茂久田商
会代表取締役



歯科医学が日々向上していると共に当然歯科器材も日進月歩で従ってこの方面の輸入を専業としていてる商社は、常に諸外国の市場に視野を向けて歯科界に貢献することに努力している関係上、外国人との接触も多くなります。私の経験から感じたことに、たとえばちよつと頑固なドイツ人、冷たいところのあるアメリカ人、何となく積極性に欠ける感じのイギリス人など、悪い面もあります。そういう国民性の良いところ悪いところを知ることが大切でしょう

★シアトルで感じた日本への深い
理解

伊藤 勝

△I・W・M・トレイ
ダス代表



今年の新春早々、ワシントン州シアトル市へ取引先との業務提携のため赴いた。同地で知事、副知事、シアトル市役所のメンバーなどの懇談で感じたことは、兵庫県・神戸市・ワシントン州・シアトル市の間で、これ以上は望めないぐらいに文化・人事・経済の交流がうまく行っているということである。日本のクルマ、キャッシャー、コピーマシーンなどの電子製品がこの州でもかなり見受けられたが、それを貿易摩擦としないだけの日本理解が感じられた。

★日本のことをもっと知らせよう

瀧 善平

△興タキ商店
事務取締役



言語を異にする民族が相互に理解し合うには、一般的にいって、「英会話」が必要だと思います。しかしながら、「会話力」があってもそれを支える内容がなければ会話は成り立ちません。我々は、自分の国の歴史、地理等を、もっとよく知ることが大切だと感じます。他国の人々は、日本のことをもっと知っています。私も日本のことをひとつでも多く知ってもらえるよう努力をしたいと思っております。

★信頼できる人間関係を
まずつくる

眞武 康夫

△またけ産業商
代表取締役



当社は昭和26年以来、機械や金属製品の輸出入（主に輸出）を行っている。輸出国はアメリカが中心でその他西ドイツ、スイス、オランダ、オーストラリアなど。仕事をスムーズに運ぶには信頼できる人間関係が不可欠だ。日本の宗教についての話などが契機でうちとける例が私の場合数多くある。ポトピア81の時、気付いた事だが外国語の解説がなかった。神戸が国際都市を謳うならこの辺のところから細かい心配りをすべきであると思う。

★推進したい民間外交

浅木 幸雄

△興北野クラブ
社長



私は神戸ロータリー・クラブが一九七〇年より、山手女子学園の協力を得て行っている、オーストラリアとの青少年交換事業に大変意義の深さを感じています。我々自身が国際理解を深め行動するのも大切ですが、次なる世界人の国際交流こそ世界平和の近道だと信じます。そこで国際都市神戸に住む我々としては、住居、言葉、食事、習慣等違いはあるでしようが、もう少し世界人にホームステイ等の門戸を開いて欲しいものです。

★サンフランシスコの雰囲気

南 春人

△南南インターナショナル 専務取締役



神戸とサンフランシスコはよく似ている。海と山が接近し、坂道があり、夜景がすばらしい。塩屋のカフェテラスで食事をしながらヨットを眺めていると、ソーサリットにいるような気がしてくる。

ところで北野に芸術大学があったらどうだろう。坂の町的情緒は彼らの創造力をかきたてるのに充分である。そしてトリアロードにケイブルカーを走らせる。終点の公園では芸術家が集まり、野外コンサートやパントマイム、こんな神戸はどうだろう。

★国際交流は人と人との交流

秋澤 三夫

△大丸取締役
神戸店長

私共では、世界各国の商品を扱っている関係から、欧米はもとより東南アジア、中国など数多くの来訪者があります。中でも毎年9月に来店するニューヨークのデザイナー、ジョン・ワイツ氏が印象的です。彼は自分の関係する商品を見て回りますが、自らお客様に声をかけ商品の感想を求め、又販売員にもいろいろな意見を聞き実際の状況をつかんで帰ります。国際交流とは物の仲介だとしても結局は人と人との交流であることを彼を通じて学ぶことができます。

★紳士服づくりは国際親善を

深める

渡辺 利雄

△KK渡辺洋服店 会長



私は昭和30年に、取引先の英国ウエンシール羅沙会社の招聘によって二カ月半にわたって、欧州先進五カ国の一流テーラーを見学しました。このとき初めて本場のファッションを知りました。同時に全日本洋服組合連合会が、パリに本部のある世界高級洋服業者同盟（IMF）に加盟する手続きもとりました。翌年、神戸でわが国初の男子洋服国際ファッションショーが開かれ、在神各国人が多数出席しました。こうした民間での国際交流の成果は大きいものです。

★お互いの子供の交換も一案

清水 俊博

△株式会社クロス 常務取締役



東京とスイス国内で国際学校に在席中に世界各国から集まって来た学生たちと会う機会に恵まれ、その間にアパートや寮での共同生活、おたがいの家庭滞在を通して多くの友好関係ができました。私たち家族はこれらの友人や、またその家族が来神する時にはいつでも滞在してもらえようように心得ています。またこれから先、夏休みなどの一時期を通しておたがいの子供を交換して過ごしてみるのも彼等にとっていい経験になるのではと話しています。

★長くつき合いたいイタリア

大村 邦年

△大村商事専務取締役、インベリアルプラザ・ボルボネーゼ 店長



私にとってイタリアは、仕事上重要な国です。特に「ボルボネーゼ」の工場のあるボローニアにはデザイン等打合せのため何度も訪れています。田園的な町並みの中に脈々と生きづく歴史と伝統の重みを感じ、その中に同化していく自分を見つめる楽しみがあります。又イタリア人気質と言うか社会的には暗い部分が多いが、とにかく明るくて人のいい連中が多いし今後、長く深い付き合いになります。私が私にとって少しも苦痛に感じないし、期待しています。

★神戸独自のファッションを

世界へ

砂川 松枝
△クチュール
カセツ

十数年、海外の見本市を視察し、その間ファッションと世界各国の経済動向との密なる関係を感じ続け、現存の神戸ファッション市場は世界のコピーにすぎないのではないか。神戸市で開催する時は、ヨーロッパに魁け、さらに優秀なものでなければ、何の意味もないと思う。永年の神戸独自のクリエートされた、すぐれた美の感覚とエキスを表現し、フレッツシユな「コンベンション都市」にマッチした、ファッションの凝結でなければいけないと痛感する。

★広げよう！ 若者との友情の輪

植木 督

△神戸コレクション
オーナーV



シルクロードを中心に世界各国へ、毎年十回位、民芸品仕入と写真撮影を兼ねて出掛けています。日本は品物は非常に豊富ですが、日の出と共に起き、夕焼けで一日が終る南の島々の素朴な生活に接すると、どちらが人間にとって幸せか、と考えさせられます。ユニバーシアードなどにも、先進国だけでなく、ASEANなどを中心に、後進国の若者をたくさん招待して、友情の輪を広げて欲しいと思います。

森 良雄

△シラード・サー
ビス神戸支店総務
部長V



①、アメリカでよく暮を米人から挑まれて弱りました。想像以上に普及して居り、麻雀もある程度家庭に入っています。

もっと私達に知られていいと思うのは深南部(テキサス州、ルイジアナ州など)で観光ルートを少々延して広大なアメリカをご覧になることをおすすめします。

③に就ては全く同感です。但し一般に日本人はせっかちなので思いやりのある習慣がより必要になるでしょう。

★日本とベトナムの違い

田中 満

△親和海运
事務職員V



私達は船舶代理店業務を仕事としているので、外国との関係は多少深いように思います。その中でベトナム船に行つてよく思うのは生活水準、物質などについては、日本と比較にならないということです。そういう時、日本は何につけ本当に良い国だなあと感じます。

しかし、思いやりや愛情という面では、そういうこともあつてか、日本を越えているように思えます。その点について、日本人は、まだ考えるべきところがあるようです。

★豊かさとは時間の余裕

工藤 恭孝

△ジャンク堂書店
社長V



当店では、バリのサントノールでリブレリー・ジャンクという書店を営業しております。フランスという国は見掛けと実質には相当な開きがある国です。街のカフェーで数時間も過ごしたりしている人は、日本人の目から見ると不思議なもののように映ります。一般の庶民の食生活は、朝昼はパンとコーヒーだけです。夜もそれにハム程度が加わるだけだそうです。百万以上かかる夏のバカンスの為だそうです。豊かさとは時間の余裕なのかもしれません。

★ビルマ人との心のこもったつき合い

古田 義雄

△富士浅野海運取締役
役神戸支店長V



一九六五年海上より陸上へ生活の基盤を切替えて以来、海運を通してビルマの国の人々と深い交際を持つ様になった。海運先進国の一船長として伝統や知識のみを振り回すことなく、彼等の良き先輩として根気良く物の道理を説いたことが受け入れられて、公私共に多忙を極めていく。質素な生活は一見途上国を思わせるが、よく考えて見ると砂上の楼閣的日本の姿の方が恐ろしくあり、何かあれば金々という国家ベースの交流する心のこもった付き合いを切望する。

堀田 進

△神戸大学名誉教授・
医学博士V



世界に向つて開かれた、日本の最大の窓と言ふべき港都神戸は、今後ますます積極的に国際交流の実を挙げ日本の進むべき道に指導的立場をとる意気込みを持つべきです。特に学術面で世界の国々、とりわけ、東南アジア・環太平洋地域の発展途上国と堅く手をにぎり、文化の興隆、民衆の福祉に貢献せねばなりません。私の専門の領域から申せば、医学の研究・診療・教育・訓練のための真の国際センターをこの神戸の地に設立することを切望願います。

★ゼミの多数派は留学生

村上 敦

△神戸大学経済学部
教授▽



わたくしの大学院ゼミナールでは日本人学生より留学生の方が多数を占めている。それぞれ日本語もうまくなり、実に真面目に研究に取り組んでいる。しかし本心彼らが日本についてどう考えているかはわからない。かつて米国へ留学した時、わたしたちはずい分アメリカの悪口をいったものである。彼らも飲むにつけ酔うにつけ日本や日本人を非難しているかもしれない。しかし、それでよいのではないかと思う。いまでもわたしは米国が大好きなのだから。

★縁の深いブラジル

杉村 新

△神戸大学理学部教授
(地球科学)▽



明治41年笠戸丸はブラジルに向け神戸を出港した。ブラジル移住の原動力の一つは明治38年の杉村公使の「ブラジル報告」であるといわれる。公使は私の祖父であるが、翌年彼の地で急死した。私は神戸っ子とはいえないが因縁の輪が神戸で閉じているのを感じる。リオデジャネイロの祖父の墓を訪れた折サンパウロ大学地球科学の藤森・杉尾両教授にお会いしたのできっかけて、神戸出身で私の所の元木君が同大学の博士課程に入學。今彼はそこで頑張っている。

★まず相手の気持を尊重することから

片野 彦二

△神戸大学教授▽



国際交流と言っても所詮は人と人との結びつきに過ぎません。これを円滑にするには、お互に相手の気持を尊重することです。相手と同じ国の隣人であろうと、地球の裏側の外国人であろうと変りはありません。私自身、最初の外地生活から今まで、この方針で交際して、成功したとは思いませんが、失敗した経験はありません。国家ベースの建前交流か民間の積極的な交流かと言う前に、もっと考えなくてはならない大切なことだと思います。

★留学生に必要な家庭的雰囲気

杉原 四郎

△甲南大学学長▽



甲南大学はイリノイ大学との協定で、毎年数十人のアメリカ人学生を迎えますが、彼らはすべてホームステイの家庭に入り、九カ月の生活を送ります。大学での日本研究や各地への旅行にも増して彼らに印象深いのは、日本人と生活を共にした経験だそうです。私自身もロンドン大学に一年留学した時、後半によい下宿が見つかったのはじめて、落ちついた勉強ができ、イギリスという国への理解が深まりました。それから25年、今もその家族との交際が続いています。

★国際交流情報センターの創設を

吉田 寛

△神戸商科大学教授▽



①シアトル、オリンピック。エバリーグリーン州立大と教授交流。学生交流が期待される。②相互理解を深めるための短期滞在を双方の街で実施するといふ。③国際村を県内につくって、スポーツ、レクリエーション、教育・学術交流、地域産業の体験交流などをするとよいと思う。④国際交流を日常化できるように、宿泊施設、実習教育施設、委託研修生制度などを整備する。国際交流情報センターを創設する。国際交流援助資金制度を設ける。交流フォーラムを作る。

★マレーシアのタムさんのこと

田中 國夫

△関西学院大学社会学部教授・社会心理学▽



タムさん。マレーシアのクアラルンプールに住む弁護士さんです。温厚で誠実そのものの中国系マレーシア人で数年来親しいおつきあいをしています。このところ年に一度はレイククラブというクアラルンプールのテニスクラブでテニスをしています。このテニスクラブで各国大使夫妻、マレーシア政府高官といった方々を次々に紹介して下さるのがタムさんです。これらの人々とコートサイドに生ビールをおき、飲みながらのブレイの気分は最高です。

★アメフット選手と心温まる交流

武田 建

△関西学院大学社会学
部長、関西学院高等
部アメリカンフット
ボール部監督▽



まだ大学の監督をしていた頃である。米国の大学チームを招いて甲子園で試合をした。結果は大敗だった。その後数日間、彼等を二人ずつ関学の選手の家に泊めた。相撲取のような青年を寝かすのに、ふとんを二つ継ぎ合わせた家もあった。日本の風呂にどうやってはいのかの説明にキリキリ舞いした家族もいた。そして、彼らが新大阪駅を出発するとき、送ってきた日本の親たちは、見上げるような大男の手をとって泣いていた。大男の目にも光るものがあつた。

★印象的だった国際交流まつり

小林 信次郎

△大阪工業大学教授▽



世界コミュニケーション年の英語はCommunicationsと複数の綴りになっている。すると情報だけではなく交流とか人間関係を深めるという意味も加わる。

去る二月六日、神戸国際展示場で延約三千数百名の入場者を集めて開かれた第二回神戸国際交流祭は国籍、人種、信条、性別、年齢等を越えて多くの人が舞台外やロビーでも語り合い、サインを交換し合いつつ交流を深めているのが印象的であつた。このコミュニケーションショーンズも大切にしたい。

★まず親しい友人をつくること

鳥居 幸雄

△神戸市港湾局長▽



① 仕事の関係でアメリカ、欧州の港湾管理者や海運関係の人達、最近では中国を初めアジアの人達と広く交際しています。

② 港関係が多く共通の話題があつて、いきなり親しい会話に入ることが出来ます。

③ 私達は昔から民間外交を進めている神戸港を誇りに思っています。

④ 外国の人達との交際は難しく考えずまず親しい友人を沢山作る。コンベンション都市も自然に道が開かれます。

★成功させたいユニバーシアード

畑岡 瑞夫

△一九八五年ユニバー
シアード神戸大会組
織委員会神戸事務所
部長▽



「学生のオリンピック」と言われるユニバーシアードが、60年8月24日から9月4日まで神戸で開かれる。五大大陸、百カ国から五千人の若人が神戸に集う。

この時期、神戸は世界の注目を浴び、町には国際色があふれるだろう。神戸市民のホスト精神が真に試されることにもなる。

世界の人々をゆとりを持って受け入れる広い心。競技場で勝者に敗者に等しく贈られる暖かい拍手。そんな心づかいが、大会の成功と世界の神戸を約束するだろう。

★シアトルからの高校生

派遣の実現を

渡辺 昭三

△神戸市教育委員会
参与▽



33年から始まった神戸とシアトルとの高校生相互派遣事業も今年は、シアトルから受入れる年である。神戸は市をあげて高校生を選抜派遣しているが、シアトルは市の援助は一切なく、すべて自己負担で希望者を派遣している。最近の不況、中国志向という難問をかかえ、神戸への派遣に困っている様だ。一方通行ではこの事業も継続できなくなる恐れがある。シアトルの都市提携神戸委員会の奮起によって、今年の派遣をぜひ共、実現してもらいたい。

★リガ市との友好の深まりを願う

西沢 倫雄

△神戸市教育委員会
体育保健課長▽



友好都市リガとのスポーツ交流は、54年、リガ市バレーボール団の受入れに始まります。55年バレーボール団の派遣、柔道団の受入れ、57年7月柔道団(一〇名)派遣の運びとなり、団長としてソ連を訪問しました。

各地で親切なもてなしを受けましたが、リガ市での心温まる歓迎は忘れられません。合同練習、試合、見学、レセプション等を通して「スポーツに国境なし」を痛感。両市の友好の深まりと、国際交流の発展を祈っています。

★意思の疎通に大切な言葉

藤本 義昭

△神戸市立自然の家
所長



台湾の東南、太平洋上にうかがふ小島「蘭嶼」で会った牧師さんはヤミ族の青年でした。

その彼がきれいな日本語で話しかけてきました。いろいろ聞くとヤミ語を始め台湾の各高砂族のことは、台湾語、広東語、北京語、そして英語も話せます。ことばが意思の疎通をはかる上で、大切なことはいまでもありません。

インドや香港で「日本は素晴らしい国だ。しかし日本語しか話さないで心がよくわからない」と言われたのを思い出します。

★陽気で親切なイタリア人気質

石川 博義

△前神戸市ミラノ
駐在員



ミラノの生活は楽しい三年間であつた。陽気で親切なイタリア人気質に負うところが多い。しかし銀行、郵便、電話などの社会サービスは、日本から見ると非効率で当初は随分イライラさせられた。

夏一か月のバカンスのために一年間仕事に耐えるという姿勢と、仕事そのものが生活と考える、身についた「ものさし」の違いは大きい。誤差調整がなんとかでき、気持ちに余裕が持てるようになったのは、三年目に入ってからであつた。遅きに過ぎたと悔いが残る。

★現代美術の交流を
日本から世界へ

増田 洋

△県立近代美術館館長
補佐兼学芸課長



②県立近代美術館はスペイン国立現代美術館と姉妹提携を結び、資料交換などを行っている。また、西ドイツ・ハンブルグ州の装飾工芸美術館、アメリカのニューヨークにある近代美術館などと、展覧会の共同企画を行っている。

③美術展に関しては、作品保護の観点から各国とも、政府間交渉による美術展交流を行い、制限を強化する方向に向っている。民間交流は現代美術に重心が移るだろう。今求められていることは日本から送り出すことである。

★自国の文化、社会にも目を
向けよう

木下 琢雄

△甲南イリノイ・
センター所長



国際交流の出発点の一つではない。国際的な祭りも、他国のものに耳を傾け、目で楽しみ、味わうのもいい。どれも貴重な経験で交流のきっかけとなる。そして存在する意味を知った時、理解の歩が始まる。しかし交流は一方的な理解や模倣だけでは成立しない。自国のものを他国の人々に知らせ、分け合う努力がなくてはならない。それには自国の文化、社会にも目を向ける必要がある。そのような個人の努力が真の国際交流を推し進めていくのだ。

★日々の生活の中の
つき合いが大切

住野 和子

△神戸YMCAクロス
・カルチュララム・セ
ンタープログラム・セ
ンターレクター



国際都市とはいえ、そこに住む外国人と市民の交流があまり見られない。言葉の壁、習慣の違いなどが大きな障碍であるとしても、一日限りのお祭り騒ぎやグループだけの活動に終わっているのは真の交流には程遠い。日々の生活の中で、

気負わず自然に外国人の人達と共に語らい共に助けあってこそ、お互いの文化の違いも理解できると同時に人間としてのより共通なものに触れ合うことができるのではないか。留学生ホストファミリープログラムもその試みの一つです。

★ちよつとおかしい国際感覚

小早川 昭吾

△ドイツ連邦共和国総
領事館主務通訳官



神戸の国際感覚については意見が多様に分れているようです。例えば相楽園会館の使用についても外国との感覚のずれがめだちます。会館はなるほど商目的でなければ国籍をとわず使用できます。ここで問題になるのが使用時間です。五時以後使えないということは、外国人にとっては使つてはいけないとほぼ等しい意味を持ちます。ここで「外国人を差別していない」と主張する根拠は「外国人は日本人と同じ生活規範（行動）に従うべきだ」という考え方でしょう。

★自国の文化を知ること大切

榎崎 四郎

△神戸日西協会会長▽



スペイン名画展のプロモート、日本舞踊、琴、淡路人形浄瑠璃のスペイン公演、国立現代美術館との姉妹提携等の文化交流は、前駐日スペイン大使ホセ・アラゴネス氏の強力な支援の賜である。

その他ドイツ、ベルギー、英国等色々なお国の方とご交際したが、それぞれの会話の中に出てくる。神戸市も官民を問わず自分の国

や市の歴史、文化の特徴を常識的にも把握し、外人との茶の間談話に恥かくことなく対応して欲しい

★若い世代の交流が

国際交流の基

古澤 峯子

△神戸日豪協会事務局長▽



私は豪州人の人柄に魅せられて、彼等の生き方から学ぶ所が多いという確信と、現在の日本にとって、日本人が国際意識をもつことが最大の急務であるという信念のもとに、世界交流の基点として、日豪間の、特に若い世代の交流に力を入れています。

両者の理解を深める最上の方法は、お互いがそれぞれ相手方の家庭で家族の一員として生活を共にすることだと思えます。家庭滞在を基本条件とした高校留学生、今年には豪州から六名、豪州へ五名。

★日本文化の原点はインドにある

桑原 泰業

△関西日印文化協会会長▽



「永遠なる現在が、そこにあった」。私にかかわり深い国はインド。

その出会いは昭和三十三年、故ネルー首相の来日。日印文化協定が締結されたのを記念して「関西日印文化協会」が設立されたときからだ。両国の文化交流、相互理解、友好親善のため今日まで活動してきた。これまでインドを知るため三度の訪印。日本文化の原点はインドとの認識をより深めた。インドこそまさに「日本の歴史を現在にみる」神秘な想いがする。

★日本ブータン友好協会の誕生

長島 隆

△神戸地下街副代表取締役▽



ブータン王国の奥地ヘトレッジの折首都チンブーで旧知の政府要人に招かれた。副大臣をはじめ若い政府要人たちは国造りに意気盛んであった。この国で農業指導にとり組む唯一人の日本人、西岡京治さんは彼らの尊敬を集め、国王の信頼も厚いと聞いた。西岡さんの仲介で通産省のベム・ツェリン局長と協議、神戸日本ブータン友好協会が生まれ、ブータンを紹介する英文のカラーパンフ五千部を先方に贈呈した。会員の協力により作成したものである。

★通訳なしで肌の触れる交流を

新谷 琇紀

△彫刻家▽



① イタリアとアメリカ。
② 相互の美術研修。
③ 通訳者を通じての交流は、他人の感情が混じる恐れがあるので、できるならば、各自が直接、誠意を持って、それぞれに適した方法で交流を持つのが好ましい。

④ コンベンション都市をめざしていても、日本語を忘れないように。外国人が再び神戸の街を訪れたい、と思う気持を抱かせるような雰囲気と魅力のある都市になって欲しいものです。

★筆を携えて世界各国へ

望月 美佐

△望月書道芸術院長
△鳳凰表社代表取締役▽



日本の文字は、かな、漢字、カタカナとつかいわけた、すばらしい国語だと自負しております。この尊く美しい日本の芸術を世界各国に理解してもらうために、筆を携えて、三、四カ月ごとに新しい国へ、また再度訪れてより深い文化交流の輪をひろげるよう努力しております。文字と心のふれあいをもとめ「美佐オリジナル」にも楽しい夢を托しております。私のこれからの生涯を日本の伝統芸術のためのみにと燃えております。世界に日本の書の美しさを。

★ラケットボールを普及させたい
石黒 道兼

△日本アマチュアラケットボール協合理事
西日本支部長▽



世界各国より数々のスポーツを紹介している神戸YMCAは、十年前にアメリカよりラケットボールを輸入した。プレーを始めて七年目の私は、二年前アメリカで世界選手権大会に日本代表として選ばれた。現在日本アマチュアラケットボール協合理事を務める私は、このすばらしいラケットボールの普及のために去年日本初版のラケットボール入門書を出版した。ラケットボールは知名度も高くなりマスコミにもとり上げられ神戸がメッカとなりつつある。

★シンガポールとさらに交流を

陳 徳仁

△社団法人神戸中華総
商會会長▽



アンケートに答える為に数えてみたところ私は五カ国に友人や親戚がいることがわかった。

つい一週間前、シンガポールの中華総商會（日本の商工會議所に当る）を表敬訪問し、友人達とも話し合い、各地を見学し、同国が独立して以来の経済的躍進を見て、私は同国の人達や政治に惚れてしまった。もし、神戸市が国際交流を更に広めるなら、シンガポールを勧めたい。そして神戸商工會議所はシンガポール中華総商會と密接な交流を図ってほしい。

★神戸は自ずから人を迎える町

ジャン・メルオー

△麗カトリック教会
司祭▽



山と海との交わりから生じた神戸のスピリットは、神戸をおのずから人を迎える都市に育てた。仕事の関係にせよ、一度神戸に住んだ人はここを離れても神戸にノスタルジーを感じるし、外国人は誰でも神戸で at home 風の暮らしをしている。私も33年前に神戸との出会いをして、おたがい切っても切れない状態になった。神戸は今後も音楽とか、料理とか、また、学問や経済を通じて世界の人びとを歓迎し、交わりをますます豊かにすることであろう。

★国際化を促進する個人レベル

での交流

ジェイ・グラック

△ベルシア美術
専門家▽



もし、神戸が、国際コンベンション都市になろうとするなら、先ず、もつと国際的都市になるべきだ。神戸市は、これまで外国人コミュニティが参加できるような何らかの行政努力をしてきただろうか。昨今、真の国際性という意味において、成功をおさめてきたのは、個人レベルの日本人、外国人の活動だけである。彼らは、ほとんど行政の援助も受けず、多くの場合、利益を求めないで行動している。自分達の活動が、真の国際化につながると信じているからだ。

★演奏会は素晴らしい国際交流

エバハルト・ユンカー

△神戸ドイッ学校
教師▽



神戸フィルハーモニックで唯一人の外国人バイオリニストとして活動しているが、音楽を通じて日本人と交流しあえる素晴らしい機会です。神戸がコンベンション都市を目指すためには、まず「神戸」の知名度を高めなければならぬと思います。そのいい機会が、85年のユニバーシアード神戸大会です。また日本へ来て、国際交流にはまだまだ沢山誤解があることを知りました。真実の日本の姿を母国に伝えるため、新聞に寄稿するなど相互理解につとめたいと思います

★各国の人との会話を大切に

アリス・クリスティアンス

△主婦・ドイッ人▽



主人の仕事で神戸へ来て20年になります。お友達は日本、アメリカ、イギリス、フランス、オランダととても国際的ですが、コミュニケーションはうまくいってません。本が大好きで5年前から木彫りを習っています。上達しませんが良い方々と接せられ楽しいです。料理が好きなので日本料理も習い始めました。日本人とは生活習慣など少し異なる点も感じますが、お客さまを招いた時や家族との食事の際、メニューやTVより会話をこまめにし大切にしたいですね

★言語は国際交流に

欠かせない要素

石黒マリローズ
△レバノン文化センター、フリーランサー▽



神戸は外国人も日本人も共に自然に暮らせる町。その国際的な雰囲気は母国のレバノンに相通じます。でも首都ベイルートではほとんどの人が7、8カ国語を話します。言語は国際交流に欠かせない要素、全ては言語を通して表現されるからです。また神戸では、私はレバノンの代表として、日本人や他の外国人との交流に積極的につとめたいです。決して外人のコロニーは作りたくありません。神戸の町の活動―神戸まつり、雰囲気づくりに声援を送っています。

★ありのままの心と心の触れ合い

アンナマリア・

レオンハルト

△聖ミカエル国際学校
図書館司書▽



日本人だけでなくいろいろな国の人々とお話をする機会が多いという点で、私は神戸に住んでいることを、ありがたく思っています。個人的な友人、隣人とのおつき合い以外に、私の職場、聖ミカエル国際学校、カトリック教会、神戸クラブ、KRAC等のクラブ、日本の婦人団体等を通して、さまざまな方とのコミュニケーションを楽しんでいます。どんなおつき合いにおいても大切なことは、肩書建前よりもまず、正直でありのままの心と心の触れ合いだと思います。

★日本人も外国人も同じ「神戸人」

ダゴベルト・
メリリヤン・ハラ
△チリレストランオーナー、神戸チリアンクラブ会長▽



神戸にラテン系のクラブがないため、神戸チリアンクラブを結成施設訪問、チャリティイベント等を催して、特にスペイン語圏の国々の人と日本人との文化交流の場を提供しています。国際都市神戸といわれますが、それは単に外国人居住者が多いだけで市民レベルでの交流は数えるほどです。人間は皆一人一人その国を代表する位の責任を持って行動しないといけないと思います。日本人も外国人も同じ神戸の住人として助け合いながらつき合うべきでしょう。

★もつと英語に慣れてください

ナミタ・

シャムダサニ

△主婦・インド▽



日本に来て15年、インドより日本の方が故郷のような気がします。神戸ウーマンズクラブやトーストミストレス等の団体に所属しているので各国の人との出会いに恵まれています。国際交流で一番大切なのはお互いの意志が通じ合うこと。その場合、どうしても私達は英語に頼らなければいけません。日本の方も、もつと英語を話して欲しいですね。またテレビでの英語放送をどんどん増やして、日本の子供達も早くから、英語に慣れておくと思います。

★納豆も味噌汁も梅干も大好き

アゴ・
フエイトリーザ
△留学生・ブラジル▽



三年前に神戸へ来て神戸大学で学んでいます。故郷のリオデジヤネイロとよく似た雰囲気、港町で大変住みやすい。習慣や言葉の違いはあっても同じ人間だから仲良くやっています。沢山の日本の友人がいてどこへ行っても親切にしてくれるしとても楽しい。専攻は経済ですが、能、歌舞伎といった日本の文化にも興味をもっています。食べ物も美味しいですね。納豆も味噌汁も梅干も大好きです。

★神戸にホストファミリーが

欲しい

マリー・C・パルセ

△留学生・
フィリピン▽



マリナ市は高槻市と姉妹提携を結んでいます。だから相互の交流が多く、私のような留学生がよく市長を訪問したり、また、生花展をマニラで開いたり、活発な交流が行われています。伊丹市にはホストファミリーの方―お父さん、のような感じの方が居られるので、時々遊びに行きます。神戸は国際都市なのだから、もつとホストファミリーがあつたらいいと思うしまた、フィリピンの都市―セブ―かダバオあたりと姉妹都市提携をして欲しいと思っています。

★あえて「国際交流」を意識しない

鳥越 哲

△神戸眼鏡院事務

取締役▽



米国ハワイや香港の人々とのつきあいが多く、交流といった気持ちで接したことはない。小生のつきあいは家族的なもので自然発生的な感覚である。国際交流などとおがましいことを意識しないことが大切で気分よく海外の人々につきあうことが結果的に本当の交流が生れると思う。神戸のコンベンション都市指向は結構と思うが活字的或いはアドバンス的計画はよくない。官制のバランスを調整し「アソビ」の雰囲気要素を官民揃って生み出す必要がある。

★相手国の歴史、文化をよく知る

柴田 高明

△柴田商事興取締役社長▽



① 英国。相手はビジネスマン。大卒者ではないが教養の深さに感心しております。

②と③ 根本は相手の国の歴史と文化を良く知ること。学校教育、成人教育の場で系統的に教えること。

④ 「避けること」先進国人に心要以上に愛想を振りまかないこと。「必要なこと」後進国人には、心より親切にすること。

コンベンション都市は賛成。但し昔あった旅館の客引の真似はしないこと。

★神戸に必要な「大人の世界」

大島 智恵

△ベニー毛皮店

企画・販売室長▽



毎年、毛皮の買いつけのため、ヨーロッパ、アメリカへ出張しますが、特に世界最大の規模で開かれるフランクフルト毛皮見本市は、出展社数30カ国より五百九十社に及ぶもので、最新の毛皮ファッションとそれを創りえるテクノロジーの発達は、見逃せません。また独自のデザイン、アイデアの主張も個性的で、それを認め、理解し活用出来る社会があるということ。要するに、大人の世界ですね。大人の男女が、活躍、楽しめる場を、神戸に望みます。

★バキスタンに行つて思うこと

打開 奈津子

△パピロン有限公司取締役▽



① パキスタン。この国に年に一回は訪れておりますが、後進国中の後進国。町を歩いてても子供が見るもあわれな姿でいて思わず涙が出そうになります。いつも帰国した後は与えられぬ幸福を考えさせられてしまいます。その意味で日本人はもっとも自分達のありかたを考えるべきだと思います。

国際交流については日本のテレビ局は、もっと外国のフィルムを見せるべきでしょう。我々日本人は、世界の現状を知らなすぎると思います。

★「近くて遠き国」韓国

小池 義人

△兵庫県日韓文化交流協会会長、須磨寺管長▽



「近くて近きは男女の仲」というが、韓国は意外に近くて遠き国なのではないかと、最近思いはじめた。例えば、私自身の場合、英・独・仏・露の西欧語なら、いささかなりと理解出来るのに、韓国語は全くわからない。現に、私の寺にも実に多くの在日韓国人の方がたがおりに來られるのである。いわば盲点であった。日韓文化交流協会が最近発足したが、私を含めて多くの日本人にとって、この会が盲点解消に役立ってほしいと願われてならないのである。

★ウルグアイとの姉妹都市提携を

エミリオ山田

△留学生・ウルグアイ▽



祖父母が神戸出身の日本人ですから、小さい時から神戸の街に親しみを抱いてきました。5年前に來て経営学を学んでいますが、静かで気候もよく大変過ごしやすい空気がきれいだし、何より海の匂いが故郷の町と似ていて好きです。神戸の人はみな親切です。いまウルグアイと神戸を姉妹都市提携するように小さな運動を起こしています。神戸港からウルグアイのモンテビデオまでは定期航路でつながれていますから、今以上に交流と理解を深めたいと思います。

★国際教育研究センターの設立を

田島 博

△神戸外国語大学
学長



日本の外国人留学生の受入れ体制は不十分だと思う。特に私費留学生がわが国で勉強出来るための日本語教育などが遅れている。国際都市を標榜している神戸市としてはこうした留学生受け入れの施設が必要だと思う。「国際教育研究センター」と呼ぶようなもので留学生諸君と日本の学生が気軽に交流し合って、彼らに必要な日本語を教育し、日本の文化も知ってもらえるような施設がほしい。外国からの学者との共同研究も進められるものであつて欲しい。

★国際交流の方法は対話が良い

ビノ・マラス

△天理大学客員
教授



神戸は大きな村で都市とは思われない。神戸っ子はアゴラ(広場)に出て、ポリス(都市)をつくり、ホモポリティクス(政治的人間)として、コスモポリタン(コスモス=世界)にならねばならない。ホモエコノミックスになるならば、弱肉強食のルールに基いた経済戦争しか考えられない。国際交流の方法としては対話が良い。チームバリューにこだわらず、内容、能力のある人を中心に、問題になっているテーマを分析して、東洋と西洋が出会い対話する。

★ブライトと節度のある交流

朝比奈 千足

△指揮者



①東西ドイツ。西ベルリンにある放送交響楽団ルチカ事務総長は多くのメンパー達。ベルリンフィルのメンパー。ベルリン芸大の教授達。東は各オーケストラの指揮者。国立歌劇場の音楽監督スィットナー他多数③国際交流は職業柄民間ベース以外は考えられない。一人でも多くの人々と家族ぐるみのつきあいができる友達になることがお互いに必要で、ふだんからのおつきあいが大切です。そして日本人としてのブライトを持って節度ある交流をすることが大切だ

★宗教面での交流が必要

八代 欽一

△聖ミカエル大聖堂主
任司祭、神戸慶応俱
楽部副会長



①ミカエル大聖堂本山英国のカンタベリー大司教、主任司祭。ロンドンの姉妹教会聖ポール大聖堂、ウェストミンスター寺院の主任司祭等と交流あり②関西日英協会、神戸日豪協会、神戸日米協会の会員で知己多く、特に宗教面での交流が必要である。③交換留学生などは大切。日本の私学官学を問わず、もっと婦国子女の問題に力を入れてほしい。④日本は日曜行事が多く、日曜の教会へ出席できない外人が多い。つき合った外人とのXmasカードは20年続けよう

★「美の使節」による日米親善

木下 章夫

△木下真珠代表
取締役



私は20年来、アメリカ、それも特にロス・アンジェルスとニューヨークの業者と取り引きをしている。毎年8月にはバカンスを兼ねて渡米している。真珠業界ではおとしからパールプリンセスをアメリカへ派遣しているが、商取引だけではなく、いわば「美の使節」ということで歓迎され、相手方のムードも和んで来るよう。一方春ともなるとバイヤーがやって来るが、神戸は、比較的狭い地域に業者が集まっているので、地の利がよく、この点も歓迎されている。

★オフタイムでのフランクなつきあい

中島 英詞

△関西中商会社長



祖父の代からずっとアメリカ・ニューヨークと数物の取引を続けて、私で3代目になります。先日、同じ数物の輸入業者の招待を受け75周年を祝ったのですが、相手も私も同様に3代目で、100周年にはお互いの息子が祝うことになるだろうと、和やかな話題に及びました。ビジネスはビジネスとして徹底的に利益追求をする反面、オフタイムとなれば家族ぐるみのフランクなつきあいを、それが欠けがえのない相互信頼となつて仕事にも実るのだと思います。

★コロンビア名誉領事を拝命

上島 達司

△UCC上島珈琲
社長V

①コロンビア。神戸駐在名誉領事を拝命しています。コロンビアコーヒーは「マイルドコーヒー」の王様と呼ばれ世界で広く飲まれています。毎年最低一回はボゴタを訪問しています。

②③ジャマイカ。同国のブルーマウンテン地区で農園を経営中。同国の農業技術スタッフと効率良い収穫方法を共同開発中です。日本の農業技術も数多く採用されています。

④世界から人々が集まるのであるからリクレーションの場所も必要

★今年も神戸らしい国際展を企画

森本 泰好
△神戸地下街開発専務
取締役V

さんちかタウンとパリの西約20kmベルサイユ宮殿の近くにあるパルドウというヨーロッパを代表するショッピングセンターと姉妹提携したのは昭和46年6月のことである。その後、神戸放送合唱団が大熊猫さんのお力添えでパルドウを訪ね、日本の民謡などを披露して喜ばれたようだ。さんちかタウンでは昨年5月にドイツ週間を設け、ドイツの現代写真家展や、ホルストヤンセンのポスター展、観光物産展を行った。今年も神戸らしい国際展を企画 중이다。

★一人からでも交流はできる

中西 勝

△洋画家・
二紀会理事V

国家ベースでも民間でも大いにやれ、と言いたい。一人でも二人でも交流はできる。交流なんてそこからの出発だ。神戸二紀では今度の展覧会にパリ、モロッコなどから11人の出品があった。私がパリで知り合いの作家に声をかけたのがキッカケだが、常に頭の中に文化交流のことがあるから何かあればその話が出る。こちらも今までにハワイ、シンガポールで展覧をし、今後韓国でも企画の話がある。血の通ったつき合いの輪が真のコミュニケーションである、と思う。

★神戸沖国際空港はぜひ必要

フイル・
キャンパネラ
△オリバー・エバンス
・キャンパネラ商会
社長V

神戸には37年住んでいるが実に素晴らしい街です。神戸の中心は戦後、神戸駅周辺から三宮へ移動しましたが、今後はポートアイランドへ更に移っていくと思います。国際都市として発展するためには神戸沖国際空港は絶対必要でしょう。ポートアイランドは非常にフレキシブルな街、スポーツシティ、コンベンションシティ、そしてカルチャーシティになる要素を持っています。あと神戸に足りないのは東京・京都・大阪にあるような各国のカルチャーセンターですね。

★現在の文化をもっと輸出しよう

植松 奎二

△アーティスト(在日独
デュッセルドルフ)V

僕の展覧会でも美術館の館長が「君と一緒に仕事したい」といつて企画から参加してくる。一緒にひとつの仕事をする姿勢はどの国でも感じる。言葉を越えたつき合いは知らない町の人々が見に来る会場でもそうで、良かった、気に入った、わかった、消化不良を起こした、とはつきり言いに来る、それが海外では自然なんです。日本では経済交流が優先してたけど今後はもっと文化交流を企めるべきだ。それも伝統ばかりでなく現在の文化をもっと輸出すべきだ。

★「世界」的視野をもって欲しい

ベンジャミン・
オルタゾン
△カトリック司祭V

神戸では外国人のためのミサも行っているただ一つのカトリック教会の司祭として様々な国籍の人と共に活動したり、カウンセリングに応じたりしています。国際理解・交流は全ての人が望んでいること。それがグループ単位だけでなく、個人レベルでスムーズにいくべきだと思います。神戸はコンベンション都市として発展していくのに理想的な要素を持っていますが、「世界」的視野を神戸の人々自身がかつと持つべきです。

★日タイの友好を進めて30年

乾 豊彦

△興乾汽船会長▽



戦前、バンコク米の定期輸送に就航していたのが縁で、昭和26年にタイ国の神戸名誉領事館が設置された折、当時の岸田知事らの依頼で名誉領事をお引きうけて今日に至っている。ビザの交付、留学生の世話、日タイ貿易の振興にも力を注いで、31年には三等王冠賞、52年には民間人として最高の三等白象賞を頂いた。また日本ゴルフ協会を通じて、アジアアマ世界アマなどの大会に選手派遣を行ない国際親善に力を尽くすと同時に優秀な選手育成に努めている

★フランクにつき合おう

大月 尋男

△株式会社大月真珠
社長▽



①真珠は世界中の人々に愛されていますので、各国の人々と交流があります②もう50年以上、真珠の貿易をやっていますが、世界の人々との交流は、異文化ではあります、基本的には人間一緒ですから、相手の習慣を考えながら率直な考え方で話し合い、フランクにつきあうことではないでしょうか④京都、横浜、大阪もコンベンション都市をめざしている中で、神戸にふさわしいスケールを考えた会場、文化的な劇場、観光的なもの、の充実、国際空港もぜひほしい

★新国際都市神戸の創造をめざす

寺本 勤

△(社)神戸青年会議所
副理事長、興隆路屋
常務取締役▽



年初神戸JICは「新国際都市の創造」を今後の五カ年計画で取り組むとの決意表明を採択しましたその骨子は国際都市たらん①人づくり②街づくりという二点です家庭・学校教育を通じての語学、マナーなどの人間開発的ソフト面また国際都市としてあるべき交通網、施設―空港問題、コンベンションシティー機能などの都市経済開発的ハード面、この二つの模索から生じる市民の意識、行動こそが国際都市神戸という地域特性を創りだす源ではないかと考えます

★長期的展望に立った人の交流を

伊賀 隆

△神戸大学経営学部
教授▽



神戸には留学生が多く来ています。東南アジア、とくに台湾、香港、タイの学生が多く、最近では南米からも増えています。彼らの声を聞くと、若い人は彼らとだけだして交流していますが、年配の人は「不親切」のようです。例えば道を尋ねても教えてくれない。不親切でそうしているのではなく、照れがあるんです。しかし、国際都市としてそれでは困る。市民ぐるみで彼らとつき合う必要がある。今や物の交流ではなく、人間の交流が大切な時代だと思います。

★世界平和に貢献する民間大使

海野 光子

△カナディアンアカデ
ミア日本語・日本文
化部長▽



国際化というと、ともすれば西歐化ととらえられがちですが、本来はその国独特のものを世界的にすることが真の国際化だと思います。私はカナディアンアカデミイにいる三十数カ国の生徒たちに日本語を教え、また日本の伝統芸術である「歌舞伎」も教えてきました。彼らがそれぞれの国に帰ったとき、日本の心を知らせ、世界平和に貢献する民間大使として、世界中に散っていったほしいと思っています。

★ランゲージバリアーを

とり除きたい

大崎 美明



①スウェーデン人の性格は封建的で殻をかぶりがちです。暗く寒い冬が長いせいでしょうか。しかしうちとけると人間味のある人たちです。③ランゲージバリアー(言葉の障壁)をとり除くこと。フィリピン人が英語をマスターしているのはその一例でしょう。④日米、日英、日瑞(スウェーデン)といった交流関係の拡大化、また神戸外国倶楽部のような、色々な国の人が横のつながりをもて母体ができればと思います。

★パリでの“発見”

河野 忠博

△カワノ 樹

代表取締役



仕事で仏国との付き合いが過去十数年続いている。何事にも便利なのは、地下鉄のドアが半自動で、開ける時は手動になっており、乗降客がなければ開閉しない。またタクシーのドアは客が自分で開閉することは自分ですべきであると言う考え方が日常生活の基本にある。便利とか親切であるのは、決して悪いことではないが、これ位のこととは自分の手を下してもいいなと考えることがパリでは多々ある。

★文化の窓口としての空港が必要

西村 隆治

△沢の 鶴樹

常務取締役



世界各国に清酒を輸出していますが、中心はアメリカです。最近量が増えていますが、映画「將軍」などによる日本文化への理解と、日本食はダイエツトにいいという理由からでしょう。沢の鶴資料館には海外からよく見られますが日本の文化に触れたという実感を得られるので大変喜んでいただいています。こういう日本の伝統文化と先端文化を世界に紹介し、さらに世界から積極的に文化をとり入れる必要があります。そのためにも空港が欲しいですね。

★外国系企業の積極的誘致を

バレンタイン・V・モロゾフ

△コスモポリタン
製菓専務

神戸は海外の企業を誘致する必要があります。現在も何社かの外国系企業がありますが、先代の遺産が殆んどです。われわれの時代に新たに誘致した企業はまずない。問題は、外国系企業が神戸に来るかどうかということです。そのためには、有利な条件で誘致をもちかける必要があります。とくに未来志向の企業というか、ソフトウェアや知識集約型産業の日本での上陸地点を神戸とすることが国際都市としての神戸の活力を生み出すことになると思います。

★まずこちらから話しかけよう

佐伯 敏男

△西神テトラパック 樹



私は今までに約30カ国の人々と接してきましたが、外国人、特に欧米人の場合、会話そのものを楽しむことが上手な点は、日本人もおおいに学ぶべきだと痛感しています。欧米人が2、3人集まればすぐ話題が溢れるが、日本人の場合はそうはいきません。本来、会話というものは、話題を一つ話せば一つ返ってくるものです。国際交流を考えたとき、話題の内容や語学力の優劣よりも、まずこちらから話しかけていくという姿勢が第一歩だと思います。

★フランスの美女コレットさん

伊藤 誠

△姫路市立美術館
副館長

絵画展の企画で海外の美術館と様々な交渉をしてきましたが、その話は美の落ち穂拾いという拙著に著わしたので今回はフランスの美女コレットさんについてのエピソードを。中西勝さんから人助けたと思ってフランス語を習ってくれと紹介され約一年、週一回三人一組で弟子になって以来、Xmasカード(当方は年賀状)の交換やパリでは通訳をお願いしてルブルやボンビドーへ同行願ったことも何度か。この心強い味方もお年頃。ぼつ、ぼつ、のようです。

★もっと知って欲しいノルウエー

牧田 敏三

△ノルウエー総領事館
副領事

①ノルウエー人は南国系の人のようにオープンな人柄ではないが、素朴で、親切で、礼儀正しい人たちといえます。
②経済的な交流だけでなく、文化やスポーツまで広げたいです。
③美しい自然、残された秘境。民間レベルでは、旅行をして見聞を広げてもらいたいと思います。
④ポートピアやユニバーシアードで知名度も高まっているから、現状ベースでよいと思うが、ローカル空港でもいいから、早期空港誘致を実現してもらいたいものです。

★人と人とのふれ合いの場を提供

多田 栄治

△神戸国際交流協会
常務理事



国際都市の意味を厳密に定義づけることは難しい。単に古くから外国人が多数住み、施設や行事があるというだけでは真の国際都市とは言えないのではなからうか。

私たち国際交流協会は人と人とのふれあいの場を提供しその催しがスムーズに運営されるようなソフトウエアを提供するいわば裏方さんの仕事である。決して派手な面のみではない。技術や学問、文化などばかりではなく本当の人々の心の交わりのために私たちの仕事のむつかしさを痛感している

★アメリカ人による日本酒づくり

高木 稔

△大関酒造株式会社
営業管理部次長(米国)
・オーゼキサンベニ
ト社取締役



1979年米国加州ホリスター市にオーゼキサンベニト社を設立し、清酒、みりんの本格醸造、販売を始めた。杜氏の派遣、米国人による労働力で酒造りは年々順調に進んでいる。人間関係が酒づくりに大切なのは洋の東西を問わないが、この工場に働く人々は杜氏を軸にして、伝統と技術を象徴する「酒造用語」を日本語そのままに理解し、酒造りに励んでいる。この点でUSA大関は日米の産業食文化の交流役になっているのではないかと、自負するものである。

★タイでは民家に泊まる

王 柏林

△南クレセント・イン
タイナショナル代表
取締役



①タイ銀行の顧問をしている関係でバンコクに行くことが多い。また、ロータリーの交換留学制度で娘が渡豪しており、3月には4人目のタイ国女子学生をホームステイさせる②華僑総会の常任理事でもある私は、神戸の姉妹都市・天津市との公式行事に参加するが、肩が凝ることがわりと多い。③タイではなるべくホテルは避け、民家に泊まることにしている。生活を共にしなければ、心の通った本当の国際交流は出来ないと思う④何よりも市民レベルの交流が原点

★神戸にデータバンクの設立を

角田 嘉宏

△角田内外国特許事務
所長



国際的な技術供与契約を扱っているのが、世界50カ国と提携をしています。年に5〜6回は海外出張をしています。仕事を通じて感じるのは、技術供与に関して神戸が取りきの中心となること、国際都市の条件だということ、技術供与に対する情報センター・データバンクを持っている都市は今の日本にはありません。無論個人の力では難しいので、第三セクター方式がいいと思う。神戸を世界からの情報集積の先進都市として機能させる必要があります。

★私は唯一の「日本人騎士」

黒崎 勇

△甲南大学教授



①ドイツに多数の友人がいる。その大半が南ドイツに住んでいる。ドイツも南と北では風俗習慣が非常に違う。②神戸には日本で唯一のシュラフアというドイツ人の組織がある。これは1859年にブラハで生れ、世界中に広まったユーモアと友情をモットーとする組織である。巡礼で始まり最後に騎士になる。私は唯一の日本人騎士として頑張っています。③英語はもとより多くの外国語をマスターすることが何よりも大切です。

★外国人との間の壁を打破ろう

ホルヘ・ア・マニヤカ

△駐神戸アルゼンチン
共和国領事



国際交流で最も大切なことは、人と人とのコミュニケーションである。その国を訪れ、その国の人と実際に接することが有効な方法であると思う。今は容易に外国旅行ができる時代なのだから。但しその国のことを詳しく知るには一定の期間住む必要があるだろう。理由は色々あるが、日本人と外国人との間に厚い壁が存在することとは事実である。神戸が国際都市として外国人をすすんで受け入れようと望むならば、この厚い壁を自ら打破せねばならないと思う。

入園・入学おめでとう!

うれしいプレゼントは
おもちゃのカメヤで…ネ



よい子を育てる  よいおもちゃ
おもちゃの **カメヤ**

三宮方面でのお買物は…	元町方面でのお買物は…	神戸駅前方面でのお買物は…
さんちか店 ファミリータウン	元町店 元町通3丁目山側	サンこうべ店 神戸駅前地下街
☎391-4045	☎331-0090	☎351-6002
三宮店 センタープラザ1階	元町東店 元町1番街不二家前	名谷方面でのお買物は…
☎331-4969	☎391-0768	須磨パティオ店 須磨パティ オ1番館 ☎792-4588

こんにちは赤ちゃん



大林 良/神戸市東灘区

完全看護★冷暖房完備★病院前公共駐車場有

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大槻町1番18号

芦屋保健所東隣

☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

経済ポケット ジャーナル



★今年の経済はどうなるか
神戸商工会議所など地元
経済団体の共催により、2

月7日「新春経済討論会」
が開かれた。会場の神戸商
工会議所には280名が聴
講にかけつけるという盛況
ぶり。

石野信一神商議会頭の基
調講演の後、樺本茂男神戸
経済同友会代表幹事、大塚
宗元兵庫県中小企業団体中



地元経済人がパネラーで登場

と積極的な企業家精神の発
揮がその必須条件というの
が各氏の結論。

★海洋レジャーの魅力を
ニューモデルの紹介、技

術・情報交換の場として人
気の高い第2回神戸国際ポ
ートショーが3月31日～4



昨年のポートショー

月3日、神戸国際展示場で
開かれる。今年は7万人の
入場者が見込まれている。

(入場料400円)

★地元経済を支えて50年

中央会長、下川常雄兵庫県
経営者協会会長、中内功神
商議副会頭らによるパネル
ディスカッションを展開し
た。不況脱出には時間を要
し、経営者自らの創意工夫

神戸信用金庫(高村幸男
理事長)は、昭和8年有限
責任信用組合神戸金庫とし
て発足以来、今年の9月創
立50周年を迎えるが、現在
色んな記念事業を計画推
進中である。募集していた
「いま流そう君も私も熱い
汗」などのスローガンやシ



高村幸男氏
の計画や
記念誌の
編集、ネ

ンボルマークも決定。また
50周年に因んだ満期受取額
50万円の定期積金「わかば」
も、金額が適当という事で
人気を呼んでいる。その他
旅行預金の計画や
「できるだけ大勢のお客さ
まに愛される地域金融機関
として発展する事が願い」
という同金庫のさらなる飛
躍を期待したい。

★チサンホテルの参加で

ホテル戦争エスカレート
激化する神戸のホテル商
戦に、全国にチェーンをも
つ株式会社チサン/東京・竹
井博史社長)が参加、神戸
駅南に神戸チサンホテルが
4月2日オープンする。3

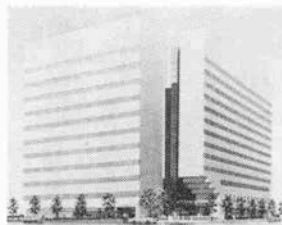
★KOBEOフイスレディ★



「1日の殆どを職場で過ごすのだから
楽しく趣味のように仕事をしたい」
と言う。2年目を迎えたばかりの若さだ
が、受付から社長秘書役まで総務の仕事
を幅広くこなし、社内の信頼度も高い。
実家は滋賀県・甲賀で「くの一最中」を
作っており、お菓子との縁は深い。「い
つも明るくやさしさを原点に!!」と頑張
るフレッシュさん。大阪薫英女子短大
卒。

吉川 景子さん(21)

△株式会社ユーハイム△



都市型セミナーホテルをめざして

而店長。神戸駅周辺の活性
化の意味でも、今後の動向
が注目される。神戸店は全
国チェーンの16番目で、今
年中に岡山、熊本にもオー
プンするという。

□神戸チサンホテル/神戸市中央区
4丁目3番1号 電話078(3
41)8113